

	提案 A	北東 J 字配置型	提案 B	北 L 字配置型	提案 C	北西高層配置型
配置・平面ゾーニングイメージ						
凡例	小学校 - 普通教室ゾーン - 管理諸室ゾーン - 共有ゾーン(特別教室) - 地域コミュニティ施設 - 学童保育所 - 共用部 - テラス等 - 施設出入口 - 利用者動線 - 車両動線					
断面イメージ						
1 良好な建物内環境	◎ 2	主要な部屋を南面配置として十分な採光を確保 共用部にゆとりがあり、建物の奥行きも浅いため通風も良好	○ 1	主要な部屋を南東面配置として採光を確保 学校の吹抜けが浅いため北側の教室は暗くなりやすい 地域施設と学童は建物の奥行きも浅いため通風も良好	△	主要な部屋を南東面配置として採光を確保 学校の吹抜けを大きく取り北側教室の採光・通風を確保 学校と地域施設の隣接間隔が狭く学校の1・2階が暗い
2 コンパクトで機能的な建物内動線	◎ 2	一体型の建物で児童も地域住民も部屋の移動がしやすい	○ 1	コンパクトではあるが学校の共有室が2階にあるため 地域住民は上下の移動が多くなる	△	分棟型の建物であるため、相互ゾーンへのアクセスしにくく、児童の上下動線が多い
3 歩車分離による安全・安心な屋外動線	○ 1	児童の安全に配慮し歩車分離を徹底	△	児童の安全に配慮し歩車分離を図るが、児童の歩行動線と給食配膳車両の動線との交錯あり	△	児童の安全に配慮し歩車分離を図るが、歩車の乗入れが町道527号線からになるため児童の歩行動線と給食配膳車両の動線との交錯あり
4 建物へのアプローチしやすさ	○ 1	地域住民の和戸エリアからのアクセスしやすさに配慮 駐車場の位置や循環バスの停留所などについては、今後の検討が必要	○ 1	地域住民の和戸エリアからのアクセスしやすさに配慮 駐車場の位置や循環バスの停留所などについては、今後の検討が必要	○ 1	地域住民の和戸エリアからのアクセスしやすさに配慮 駐車場の位置や循環バスの停留所などについては、今後の検討が必要
5 校庭環境の充実	◎ 2	整形でまとまった大きさの校庭を確保可能 (150mトラックを確保)	◎ 2	整形でまとまった大きさの校庭を確保可能 (150mトラックを確保)	◎ 2	整形でまとまった大きさの校庭を確保可能 (150mトラックを確保)
6 交流を促進する配置・平面ゾーニング	◎ 2	1階に共有ゾーンをまとめて配置することで、上下でセキュリティの区分が明快でありながら、児童と地域住民の交流がしやすい	○ 1	2階は共有ゾーンと普通教室ゾーンが同じフロアにあるため、セキュリティの区分が明快にならない	○ 1	1階に共有ゾーンがまとまっているが、普通教室が3階以上にあるため、1階の共有ゾーンとは距離が遠く交流しにくい
7 かえでの木の有効活用	◎ 2	かえでの木の周囲をテラスにし、屋外ひろばとして活用可能、かえでの伐採後に記憶を継承しメモリアルひろばとしても活用可能	○ 1	かえでの木の周囲をテラスにし、屋外ひろばとして活用可能だが、学校ゾーンとの関係が希薄 メモリアルひろばとして活用可能	△	かえでの木は伐採の必要あり 校庭の150mトラックに重なっているため、メモリアルスペースとして残しにくい
8 冬季の北西風への配慮	○ 1	屋敷林のような防風対策をとることで、校庭と建物を守ることが可能	◎ 2	体育館により北西風から校庭と建物を守ることが可能	◎ 2	体育館により北西風から校庭と建物を守ることが可能
9 災害時の避難所対応のしやすさ	◎ 2	体育館を校庭に面して配置し、災害時の物資搬入がしやすく、隣接する地域施設とも連携しやすい	○ 1	体育館を校庭に面して配置し、災害時の物資搬入がしやすい 地域施設とは離れているが連携に配慮	◎ 2	体育館を校庭に面して配置し、災害時の物資搬入がしやすく、隣接する地域施設とも連携しやすい
評価結果	◎ 15	改善できる課題のみで、全体として評価が高い。 子どもと大人が共にあることを最大限に活かした配置計画案といえる。	○ 10	建物内外の動線計画、避難所利用などに対して懸念点があり、検討の必要な課題が多い配置計画案といえる。	△ 8	建物内外の動線計画、室内の良好な環境整備などに対して懸念点があり、検討の必要な課題が多い配置計画案といえる。